

<b>Title</b>	社会福祉士として(第9回ピア・スーパービジョン)
<b>Author(s)</b>	青木, 優子
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.1, 2012.9 : 24-25
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3984">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3984</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

## 社会福祉士として 青木優子

### ① なぜ、福祉を志し現在の職についたのか

現在は主に高齢者に関わる仕事をしています。なぜ福祉を志したかといえば、祖父母と同居しており、とても大切に、愛情をもらいながら、育ててもらったことが原点だと思います。また、近所の優しいお年寄りに触れ生活してきました。そのお年寄りたちが段々と自分の力だけでは生活が困難になったとき、辛い思いをせず、人生の最後を温かい気持ちで過ごしてほしいと考えようになりました。

高校時代に社会福祉士という資格があることを知り、福祉の幅広い知識を持っている職種だとわかりました。たくさん的高齢者、そのご家族に関われると思い、この職種を志しました。また、現在勤務している施設の理念は「神様に仕えるよう

に、お年寄りに仕える」「夕暮れ時に光あり」であり私の気持ちと一致していました。

### ② 仕事の内容と困難なこと・悩んでいること

現在、勤めている地域包括支援センターの仕事内容は大きく4つあります。1つ目は総合相談業務で、地域の身近な相談窓口として高齢者やそのご家族、民生委員さんなどからのご相談を受けています。2つ目は権利擁護で虐待ケースの対応や消費者被害の防止、成年後見制度のご紹介などを行っています。3つ目は介護予防ケアマネジメントで担当している利用者のケアプラン作成をおこなっています。4つ目は地域づくりでお年寄りが住みやすい地域になるよう、地域で体操をおこなってくれるボランティアさんの養成や認知症のことを学んでもらえるように教室を開いています。

このような業務の中で、ご相談からスムーズに解決しないケースが多々あります。経済的困窮や虐待、セルフネグレクト、精神障害のある場合など複数の事柄が絡み合っていると、関わらせて頂いていてもよい方向に進んでいかないことがあります。自分の中で混乱し、どうしたらよいのか、私に対応していなければよい方向に向かい、解決につながるのではないかと落ち込むことがあります。



③ 困難・悩みにどのように向かい合っているか

地域包括支援センターには社会福祉士の他に主任ケアマネージャー、看護師がおり、2人ともケアマネージャー経験が長い先輩です。忙しい業務の中でも話を聞いてくれアドバイスをくれます。自分が精一杯になっている時に話を聞いてくれる人がいるだけでも心が落ち着くと感じています。

相談援助業務をしていて、判断の根拠や、法律や制度などがしっかりと把握できていなければ市や地域に訴えていくことができないと感じていますので、これからまた様々な知識を得ていこうと思っています。

今回のピア・スーパービジョンではソーシャルワークとは何かをもう一度学んでいなくてとは考えさせられる機会となりました。

(あおき・ゆうこ 高齢者通所介護生活相談員を経て、現在は地域包括支援センターに勤務  
社会福祉士、2003年度聖学院大学人間福祉学科卒業)